

## 2021年ISO/TC 61(プラスチック)年次国際会議開催

## 1. はじめに

2021年のISO/TC61国際会議(以降"国際会議"と呼ぶ)は、当初スウェーデンのストックホルムにて開催予定であった。しかしながら、昨年引き続いて、本年も、新型コロナウイルスの流行の状況において、WHO(世界保健機関)の指示に従って、すべての会議をVirtual Meeting(Web会議)で実施するように、ISO中央事務局から指示があった。よって、ISO/TC61としては、対面での国際会議開催を中止し、TC内のSCごとにWeb会議を開催することとなり、傘下のWGでの会議開催とSCの全体会議開催を実施し、9月28日、29日にTC61としての全体会議を実施した。なお、会議開催を必要としないSCについては、文書の回送と電子投票による規格開発を推進した。

## 2. TC61の構成・活動状況

ISO/TC61の傘下にSCは11個ある。さらにSCの傘下にWGがあり、現在全部で53のWGが活動している。ISO/TC61の幹事国は中国で、議長国はドイツからオランダに交替した。参加P-メンバーは33カ国、O-メンバーは38カ国となっている。保有規格数は709あり、大きなTCを形成している。

この中で、日本は3つのSCの国際幹事及び国際議長を受け持っており、活発に規格開発を主導している。ドイツは日本と同様に3つのSCの国際幹事及び国際議長を受け持っており、イギリス及び韓国は各々2つのSCの国際幹事及び国際議長を受け持っている。TC61傘下のSCの幹事国及び議長国はこれらの国々で占められている。表1にTC61の組織(TC、SCの幹事国及び議長国、タイトル、傘下のWG)を示す。

表1 TC61の構成 (TC61: 幹事国 CN, 議長 NL)

| SC   | 幹事国 | 議長 | タイトル       | 活動中WG数 |
|------|-----|----|------------|--------|
| TC61 | CN  | NL | プラスチック     | 1      |
| SC 1 | GB  | GB | 用語         | 2      |
| SC 2 | KP  | KR | 機械的性質      | 7      |
| SC 4 | GB  | GB | 燃焼挙動       | 5      |
| SC 5 | DE  | DE | 物理・化学的性質   | 4      |
| SC 6 | DE  | DE | 耐老化、薬品、環境性 | 3      |
| SC 9 | KR  | KR | 熱可塑性プラスチック | 12     |
| SC10 | CA  | US | 発泡プラスチック   | 4      |
| SC11 | JP  | JP | 製品         | 4      |
| SC12 | JP  | JP | 熱硬化性材料     | 3      |
| SC13 | JP  | JP | 複合材料及び強化繊維 | 3      |
| SC14 | DE  | DE | 環境側面       | 5      |

US:アメリカ, CN:中国, GB:英国, DE:ドイツ, JP:日本, CA:カナダ, KR:韓国  
NL:オランダ

## 3. 会議概要

国際会議は、SCごとにWeb会議で開催した。また、傘下のWGは必要に応じて開催し、SCの全体会議にその内容を報告した。TC61の全体会議は、SCごとの会議ののちに、全体をまとめる形で実施した。

日本提案の規格開発は、Web会議でも積極的な審議が行われ、予定通り進捗した。

## 4. トピックス

## 1) SCの議長再任及び新任

2021年度で6年の任期を迎えるSC5, SC12の議長については、再任の決議がなされた。また、SC4の議長は、9年の任期満了となり、新任の議長が2022年より就任することとなった。

## 2) 22年以降のTC61年次国際会議の開催国

2022年については、2021年開催予定であったスウェーデンが、ホスト国を務めることで合意した。以降の会議開催国は決まっていないので、TC61全体会議では、TC61議長からは、重ねて各国デリゲートに対してホスト国の申し出の働きかけがあった。なお、新型コロナウイルス問題の状況によっては、対面会議が開催されない場合には、引き続き、Web会議での国際会議開催を継続せざるを得ないことも併せて検討することとなった。

(以上)